

令和6年度第1回文化財保護審議会会議録

日時：令和6年5月28日（火）13：30～14：30

場所：西公民館 201 会議室

出席：（委員）加藤委員長、伊庭委員、上杉委員、一瀬委員、坂根委員、並木委員、森島委員、日向委員、池田委員、松尾委員、吉岡委員

（事務局）鴨田市長、福田部長、三方次長、松本担当課長、佐藤、矢内、尾崎

欠席：廣瀬委員

会議内容：

1. 鴨田市長開会挨拶

2. 報告事項

(1) 新年度体制について

事務局より説明（資料1）

質問等なし

(2) 令和6年度文化財関係事業計画について

事務局より説明（資料2）

（委員からの主な意見等）

- カモシカをよく見る（岸谷、白滝、池内）が、連絡した方が良いか？
→事務局）元気でいれば問題ないので、連絡は不要。中舞鶴や五老ヶ岳、大浦にもいると聞いている。
- 行永家住宅一般公開について、外部からも見に来てもらうために他の住宅とも連携してアピールすることはできないか。
→事務局）行永家住宅に来た人は他の住宅に回っていく人もいると聞いている。上野家は府指定・国登録文化財だが、連携する予定はない（現在休業中）。多く来るのは市内の人で、市外からも一定の人が来る。駐車場の問題や保存会が高齢化しつつあることもあり、無理のない程度で支援していきたいと考えている。

3. 協議事項

(1) 令和6年度文化財指定・登録候補選定について

事務局より説明（資料3-1, 3-2）

(委員からの主な意見等)

- 薬師如来坐像について資料に所在確認中とあるが、女布にあるのか
→事務局) 元々所蔵していた女布のお寺が廃寺になったが、女布にあることは確
実。
- 鈴木南嶺の襖絵について文化6年のものではないのではないか？
→事務局) 確認する。
＜後日確認＞乙巳(1785、1845)ではなく己巳(1809)だと思われる。調査時に
確認予定。
- 毘沙門天立像は実物を見ればもっと状態が分かってくる？どの時代のどの特徴
か？
→事務局) 実物も写真と変わらない程度。専門家による調書を作り諮問をしたいと
考えている。
- 指定候補にならないと専門家による調査は難しい？
→事務局) 調査は指定するときでないと難しい。その他の事業で大学と連携して行
うこともある。府立大でやってくれそうな人はいるか？
→上杉委員) 府立大に彫刻の先生がいないので難しい。
→事務局) 市の方でも、評価は出来ないが市内の文化財について把握し記録してい
きたいと考えている。
- 市史編さんが再開されるということもあるので、美術の先生も入ってもらえるかも
しれない。悉皆的な調査は可能なのではないかと思う。今回の4件についてはその
先生に見てもらうことも可能では。
- 彫刻3体について、1回で全部見られるか？
→事務局) 先生の都合と調査時期による。所在も転々としているので難しいかも。
- 京大の田中健一先生ではどうか？
→事務局) 近年お世話になっている近畿大の松岡先生で考えている。
- 毘沙門天立像については平安時代前期に分類されているので、ぜひ進めてもらいた
い。

4. その他

事務局) 次回日程については1月末～2月の開催を予定